

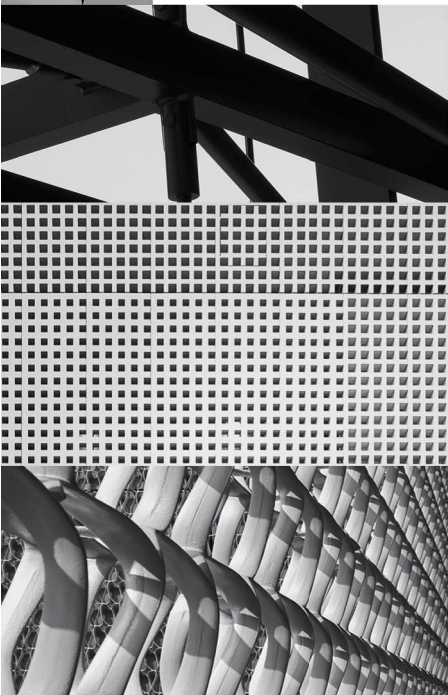
Contemporary Surface Design and Technology

Written and edited by Kunihide Oshinomi
Photography by Atsushi Nakamichi (Nacasa & Partners)



Contemporary Surface Design and Technology

Written and edited by Kunihide Oshinomi
Photography by Atsushi Nakamichi (Nacasa & Partners)



2011-2022



4910065060903400



Contemporary Surface Design and Technology

Written and edited by Kunihide Oshinomi
Photography by Atsushi Nakamichi (Nacasa & Partners)

Contemporary Surface Design and Technology

サーフェスデザイン&テクノロジーの現在
編者—押野見邦英, 写真—中道 淳 (ナカサアンドパートナーズ)



491006506091703400

Shokokusha
彰国社

Exhibition

2022.07.08(Fri) → 07.14(Thu)

11:00-19:00 | 入場無料 | アクシスギャラリー
最終日は17時まで | 106-0032 東京都港区六本木5-17-1 AXISビル4F

企画・監修—押野見邦英, 写真—中道 淳 (ナカサアンドパートナーズ)
グラフィックデザイン—塩谷嘉章, 装幀—彰国社, アクシスギャラリー, 主催—AGB



Contemporary Surface Design and Technology

Supervision by Kunihide Oshinomi

Photography by Atsushi Nakamichi (Nacasa & Partners)

Graphic Design by Yoshiaki Shioya, Cooperation by Shokokusha and AXIS Gallery, Presided over by AGB

デジタル・クラフトマンシップが建築の新たな地平を切り拓く

建築の「顔」をつくり、都市の表情を織りなす「サーフェスデザイン」は、近年ますます重要な役割を担うようになってきました。デジタル技術の進歩に伴って、これまで困難とされていたデザインもコンピュータの解析により実現できるようになりました。しかし、コンピュータのみが建築をつくっているわけではありません。そこには必ず人が携わっており、人間の技術力、すなわちクラフトマンシップがその実現を支えています。本展では、デザイン×テクノロジーと、それを支えるクラフトマンシップが切り拓く「建築の新たな地平」に迫ります。



GINZA SIX House of Dior Ginza 撮影：中道 淳 (ナカサンドパートナーズ)



すみだ北斎美術館 撮影：中道 淳 (ナカサンドパートナーズ)

2021年に刊行された「ディテール9月号別冊 Contemporary Surface Design and Technology」の内容を、展示用に再構成しました。写真と図面は3m×2mの大判パネルにプリント。一部、小型のモックアップを展示し、本では伝えきれなかったダイナミックな臨場感をお楽しみいただけます。また、ご希望に応じてAGBの技術者がご質問にお答えいたします。街並みを散策するように、最新の建築デザインをリアルに体感いただけますので、皆さまのご来場を心よりお待ちしております。



撮影：堀 拓

押野見邦英 (おしのみ・くにひで)

1941年東京都生まれ。1965年横浜国立大学工学部建築学科卒業。同助手を経て、1966年鹿島建設入社。現在、k/o design studio 主宰、元芝浦工業大学客員教授。代表作に「八重洲ブックセンター」(1978年)、「大阪東京海上日動ビルディング」(1990年)、「資生堂湘南研修所」(1997年)、「洗足学園音楽大学 Silver Mountain」(2013年)、「洗足学園音楽大学 Stage on the Lawn」(2018年) など。



中道 淳 (なかみち・あつし)

1957年兵庫県神戸市出身。1979年東京工芸大学 短期大学部卒業。同年より仲佐 猛に師事し、以来ナカサンドパートナーズに在籍。建築、インテリアの分野を中心に活動中。倉俣史朗氏の作品を紹介した映像作品「パープルシャドウズ」が、モントルー・エレクトリックシネマフェスティバルの産業部門最優秀賞受賞 (1993年)。2005年と2009年に、アクシスギャラリーにて個展を開催。

塩谷嘉章 (しおや・よしあき)
アートディレクター/グラフィックデザイナー。1987年東京生まれ。早稲田大学理工学部建築学科卒業。東京藝術大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。フリーランスを経て、2018年より株式会社 SHIOYA Tokyo 代表取締役。2017年より建築雑誌『ディテール』アートディレクター (212号へ)。

彰国社 (しょうこくしゃ)
1932年、下出源七によって創立され、以来、建築関係の図書を中心に出版活動が続ける。雑誌3誌『建築文化』『ディテール』『建築の技術 施工』を発売。数々の重要単行本など3,000点余の多岐にわたる出版物を刊行、多数の建築家や研究者を育み、国内外の斯界の進歩発展に大きく寄与する。

AGB (旭ビルウォール)
1990年設立。建物全体の美的および技術的性能において最も重要な要素の1つである「ファサードエンジニアリング」を中心事業とする。デザイナーの意図を解釈し、実現方法に落とし込む手法はアート作品にも展開される。岡本太郎「母の塔」、青森県立美術館「あおり犬」など。



〈イベントにおける新型コロナウイルス感染症への対策について〉

時節柄、新型コロナの蔓延状況により、延期・中止等の措置をとる場合がございますので、予めご了承のほどお願い申し上げます。
ご来場前に必ず当該イベントのホームページにて開催の有無をご確認ください。

106-0032 東京都港区六本木5-17-1 AXISビル 4F

[六本木駅] 東京メトロ日比谷線/都営大江戸線3・5番出口より徒歩約8分
[六本木一丁目駅] 東京メトロ南北線2番出口より徒歩約8分

〈問い合わせ〉AGB (旭ビルウォール株式会社) 広報担当 / tel. 03-5806-3110

2022.07.08 (Fri) → 07.14 (Thu)

AXIS GALLERY